

一般貨物自動車運送業における崩壊・倒壊災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	15～ 16	検査用ウェイトを積み替えの為、両手で持ってパレットに移動した際、バランスを崩し転倒し、右手の上にウェイトが落ち受傷した。	25	10 ～ 29
1	22～ 23	バースで積み込みをしていたときに、ゲートとバースとに傾斜が生じてしまった（大型用バースでの積み込みをした）ため、その傾斜でテナー（荷物）のタイヤがすべり横転し、荷物とトラックの間に左足をはさみ、脛を骨折した。	59	—
1	8～9	荷卸しの為、壁に立てかけておいたコンパネが倒れてきて、右足に当たり負傷した。	26	—
2	6～7	店の玄関口で店先の看板の位置を直している時、約2.5cmの段差上段に左足小指側だけ乗せてしまい、体重を左足小指一点にかけてしまった結果、骨折した。	48	10 ～ 29
2	23～24	貨物自動車の荷を下ろす作業中の事故である。荷を下ろそうとして（巻いたクロス約60kg）、バランスを崩したクロスが倒れそうになり、押さえたところ重みにより左手に激痛がはしり、負傷した。	61	1～ 9
2	9～10	荷物を車両庫内に運び入れる際ゲートが上下した際に外れ、荷物が倒れてきて左足を負傷した。	47	100 ～ 299
2	14～15	エレベーター内で、空力ゴ車の移動作業をしている時に、折りたたまれた空力ゴ車数台を手で押して移動中に力ゴ車が倒れ、倒れた際に被災者の足の甲に力ゴ車が乗り、負傷した。	36	100 ～ 299

2	13~14	倉庫内作業中置まれた鉄のカゴを無造作に引き出したところ、カゴが倒れ左手の中指、人差し指を挟まれ受傷した。	31	10 ～ 29
2	19~20	倉庫内で、レイアウトの変更作業中に近くでパレットを準備していたリフトを持っていたパレットのバランスを崩し、パレットがリフトの左側へ崩れる。作業者に對して、逃げる様に声掛けを行ったが避けきれずに、本人右足に接触し、その勢いで足をすくわれ、右腕側よりパレット上に転倒した。救急搬送後、打撲と診断されるが、翌日の検査の結果、右肋骨骨折と診断される。	47	10 ～ 29
2	5~6	支店構内で空のボックス3本を所定位置に移動していたところ、後向きで引いていたため台車が引っ掛かりBOXが右足甲に倒れ、打撲・裂傷したものである。安全靴は着用していた。	70	50 ～ 99
2	17~18	2階荷捌き場のパレット／かご車兼用垂直搬送機前で、搬送機に仕分終了後のかご車を2台乗せ、1階に降ろそうとしたところ、高さ制限エラーのため、搬送機が異常停止した。フォークリフトですくい上げて抜こうと思い、かご車の向きを変えようとした。かご車を横向きにする際に、ストッパーが邪魔になり、手でストッパーを下げたところ、かご車が手前に倒れてきて、下敷きになった。	37	50 ～ 99
2	21~22	キャスター付コンテナへ荷物の積み込み作業をしていたところ、荷崩れを起こし、荷物が左肩に落下して挫傷してしまった。	53	500 ～ 999
2	8~9	弊社貨物ターミナルにおいて、大型トラックより荷卸しの作業中、トラック荷台の中で缶入りの荷物（1缶約26kg）を木製のパレットに積載し、ハンドリフトにて移動させた際、トラック荷台とターミナルとを橋渡しする鉄板上を通過中にバランスを失い、荷崩れしそうになった為、慌てて両手で支えたが、荷崩れした缶が胸部へ衝突し、別記部位を負傷したものである。	51	30 ～ 49
3	17~18	荷物を積むプラットフォームにトラックを接車し、タイヤ付きBOXカゴを荷台に積むためにカゴを引っ張って搬入していた。（BOXカゴには日用品雑貨が入っている）プラットフォームとトラック荷台の間に段差があり、BOXカゴを引っ張って荷台に搬入してたとき、段差にBOXカゴのタイヤが引っかかり、BOXカゴが balan	39	10 ～

		スを崩し倒れてきた。慌てて逃げたが、右足がBOXカゴの下敷きになり、足首を骨折した。		29
3	6~7	荷物仕分センター内で早朝仕分作業中、壁に立てかけてあったシャッターの間柱が倒れ額から頭部にかけて4cmを切り、3針縫う切り傷を負った。	27	30 ～ 49
3	10~11	1階にて青果物を積んだカゴ台車（高さ約170cm・横約85cm・奥行約65cm、青果物を合わせた重量約200kg）をトラックゲート後部分よりトラック荷台に積み込む作業中、カゴ台車が倒れてしまい、下敷きとなり負傷した。	61	50 ～ 99
3	10~11	納品先の搬入プラットホームへ四輪カゴ車を使用し荷卸し作業をしていた。20kgの荷物10ケースをカゴ車に積み、押し出す形でトラックパワーゲートからプラットホームへ移動中、カゴ車前輪が斜めになりバランスを崩して、自身側に倒れてきたため、倒れるカゴ車を左膝と手で受け止めた際、左膝を負傷した。	40	50 ～ 99
3	5~6	1F荷降ろし場で、ロールボックスから荷物をレーンにおろしている最中、ロールボックス内で荷崩れが発生し、重い荷物が右手人差し指・中指・薬指に落ちて打撲を負う。	20	500 ～ 999
3	10~11	スーパーに米の配達が一個あり、スーパーのカート台車に載せている際に高積みした為に積んでいた米が崩れ、咄嗟に出してしまった左足の上に落ち、左足を脱臼骨折した。	56	50 ～ 99
3	18~19	倉庫内にて、立ててあった木製のパレットが左足首と甲の付け根に倒れて足へ接触し骨折した。	36	1～ 9
3	8~9	店のホーム上で荷卸作業中、壁にたてかけていた金網（荷物）が倒れ、作業していた当該運転手の左ふくらはぎに直撃し、左下腿挫創のケガを負った。	34	10 ～ 29
4	12～ 13	積込場所で鉄骨荷物を積む際に崩れそうになり、とっさに右手で押さえようとした際に負傷した。	55	10 ～ 29
				100

4	10～ 11	倉庫内で畳んだオリコン（10段くらい）を運んでいたところ、オリコンが崩れ、前のめりに転倒した。	63	～ 299
4	14～ 15	コンビニエンスストア内にて、ATMの機械の撤去作業中、重さ200～300kg位あるATMが台車から右足に滑り落ち、左肩、左胸に倒れてきた。無理な体勢で急に支えたとき、首・肩・胸・腰・右足を負傷した。	40	1～ 9
4	9～ 10	現場から指示があり入場し、固縛を外し荷下ろしの出来る状態にし、現場作業員が玉掛をして荷下ろし作業をしている間に荷台の片付けをしていた。荷台から降りようとして、トレーラーを駐車した横にある配管パイプに右足を掛け、左手で製品に手を掛け降りようとしたところ、製品が動いたので慌てて飛び降りたために転倒し、そこへ製品が左膝付近に落下して被災した。	62	30 ～ 49
4	6～7	当社1Fプラットにて商品の荷下ろし、荷捌き作業の最中、段ボール商材4ケースを二輪台車に載せ運搬していたとき、自身の右足が台車に接触した。積み付けした商品の荷崩れを防ごうと力んだ時に、右側の背中、腰、腿の裏側に痛みが生じた。	42	50 ～ 99
4	4～5	荷物の積み込み作業を行い、積み込み用の鉄板を、作業終了後に指定の位置に戻す際、一度立てかけて持ちなおそうとした時に前方に倒れてきて、安全靴の上から左足の甲に倒れ負傷した。	49	30 ～ 49
4	14～ 15	集荷先会社の出荷口前にトラックを止め、荷物をトラック庫内へ移動し、積んでいる時、荷物の積み込み時立てかけていたパレットが左足の親指付け根辺りに倒れ下敷きになった。通常はつま先部分に金具がある安全靴を履いて作業するが、集荷先会社の取り決めで、集荷先会社指定の上履きに履き替え作業していた。	48	50 ～ 99
4	16～ 17	ガレージにて、4tゲート車のゲート部分でMラックコンテナ（高さ40cm位、サッシ枠が入っていてラックの重さは約100kg）を3つ積み上げていた。コンテナの積み具合が不安定だったためコンテナが倒れてきて、右足首に落下した。	29	30 ～ 49
5	3～4	場内にて、3tトラック荷台での荷卸作業中に荷台内右側の高さ約180cmの位置に積まれていた商品（40×25×10cm、重さ約4kg）が崩れ、それを支えようとしたところバランスを崩し左側に積まれている商品（高さ50～60cm）に右脇腹が接触するような形で倒れ負傷した。	48	50 ～ 99

5	18～ 19	当社ホームにてオートフロア車に積み込み中、荷台最前列にて2段重ねしたパレット荷物を左右に並べ床を前進させたところ、右上段のパレット荷物が荷台側面に引っ掛かって手前に傾き、慌てて押えようと近付いた際に当パレット荷物が崩れて右足首付近に落下した。	61	50 ～ 99
5	10～ 11	納品作業中、トラック庫内で荷卸し作業をしていた時、庫内の一番前の壁に立て掛けてあった板（約90cm×約180cm）が倒れてきたことに気付かず背中に当たり転倒した。その際、膝に体重がのった状態で床にぶつかり、左膝蓋骨骨折を負った。かなりの痛みがあったが業務を終え、その後、立つことができなくなった。	41	30 ～ 49
5	10～ 11	工場内において、2人で鉄骨（約50kg）を1個ずつ運ぶ作業中、パレット上に鉄骨を積み上げていたとき（高さ35cm）、運ぼうとした鉄骨の下にあった鉄骨が荷崩れし、その鉄骨の角が左足の親指に落下し負傷した。（ミキサー車の置場に邪魔になるので、片付けて広くするため手伝っていた。）	59	1～ 9
5	21～ 22	事業先で、製品の梱包に使用したコンパネ（縦1.8m×横1m、重量10kg位）を車両の前部荷台の壁に立て掛け、動かないように車両に固定されているバンドを引っ張った時に固定されている片方のフックが外れ、そのはずみで尻もちと両手を床につき、その時にコンパネ7枚が前方に倒れ、左手の指に落ちて骨折した。	42	30 ～ 49
6	9～ 10	配達先にて、荷降後の荷台の片付け作業中、コンパネを留めてあったラッシングベルトの捻じれを直そうとベルトを外した際、立て掛けてあったコンパネ20枚が倒れ、左足が挟まり負傷した。	43	30 ～ 49
6	14～ 15	荷卸現場にて、立て掛けていたガラスが（200kg）倒れてきて、それを支えようと、後ろにのけ反った際、後ろにあったポールに腰を強打した。	41	10 ～ 29
6	10～ 11	雨で地盤がぬかるんでいる場所で荷卸し作業中、建築資材の束が倒れ負傷した。	69	10 ～ 29
6	15～ 16	荷物の配達のため住宅街に車両を駐車し、荷家から配達先のゴルフバッグを取り出す際、ゴルフバッグ手前にあるお米30kgの荷崩れを危惧し、左手で押さえながらゴルフバッグを取り出したところ、荷崩れが起こり、左手に接触し負傷したもので	26	50 ～

		ある。		99
6	8～9	製材所にて、おが屑専用タンクからトラックにおが屑を積み込んでいる時、何らかの要因でトラックの荷台のおが屑に埋もれているところを、製材所の方に発見された。	53	10 ～ 29
6	16～ 17	取引先で荷物を積んでコンビニに移動し、駐車場でトラックの荷台の残りの道具を片付けている時に、道具（コンパネ8枚）が倒れてきて、右足の踵に当たった。その際、右足首から下がコンパネに挟まれる形になった。	42	50 ～ 99
6	8～9	トラック（2t車）の荷台で積荷作業中、トラック庫内壁面に立て掛けていた、段ボールで梱包された商品（長さ1.8m位）が倒れ、箱の先が左足の甲に直撃し、負傷した。しばらく市販の湿布薬と氷で冷やし様子を見ていたが、痛み・腫れ共にひかなかった。	55	30 ～ 49
6	9～ 10	倉庫の卸し場にて、トラック荷台の中で荷物（ロールカーペット）を荷卸し中、トラック前方に立て掛けておいたコンパネが、ロールカーペットの本数が少なくなってきた頃、倒れないと思っていたが、トラック後方を向いてラックに積み上げる作業をしていた被災者の後方に倒れて来て、コンパネと荷物に頭を挟まれた。その際にメガネが割れ、左目と周辺を負傷した。	59	30 ～ 49
7	16～17	コンテナ車の内部側面に縦置きしたシステムバス用壁パネル（約25kg）を荷卸し作業中、積み出し準備をしてパネルそばにて積み出し指示を待っていたところ、パネルが倒れてきたことに気付かず頭部と額部にパネルが当たり、その勢いで倒れた際に荷台アオリ部分に背部と臀部がぶつかり負傷した。	40	10 ～ 29
7	13～14	車庫にて資材を片付けようとして、立て掛けてあったコンパネのラッシングを外し、5枚程を倒れないように角度をつけて、1枚を後方へ移動させた時、残りの4枚が自分の方に倒れてきたため押さえきれずトラックボディの外に投げ出され、転落時に右肘を着いてしまい骨折した。	46	10 ～ 29
7	13～14	事務所にて運搬した卵をトラックのパワーゲートで降ろす際に、載せていた卵のケースがバランスを崩し、労働者の方に倒れてきたために下敷きとなり、腕の筋を痛め、骨折もしてしまった。	34	10 ～ 29

7	13~14	顧客先倉庫へ納品に行った際、トラックの荷台で作業中、立てかけてあったパレットが足元に倒れ左足の親指に当たり負傷した。	20	1~9
7	6~7	営業所において、荷物を載せたロールボックスパレットをトラックに積み込もうとした際、敷いていたスロープに引っ掛かりロールボックスパレットと共に転倒した。	47	50~99
7	9~10	荷物を積み込み出発し、翌日朝荷降ろし作業の後、トラックの荷台の片付けをしている時に、緩衝材に使うベニヤ板が倒れ左足ふくらはぎ・甲に当たり負傷した。 (会社へ帰る道中腫れてきた)	23	10~29
7	7~8	荷卸しの為、トラックの観音扉を開け、ラッシングバーを外した際、荷物が崩れてきた。その荷を受け止めようとしたが、支えきれずに左腕を負傷した。	37	1~9
7	15~16	倉庫内で作業中、被災者が、商品（会議テーブル）が縦積みされたカゴ台車付近を通行したとき、カゴ台車上から倒れてきた会議テーブルとぶつかり、骨盤を骨折したものである。	67	30~49
7	14~15	荷下ろし作業中、荷台の上にいた運転手に荷物が倒れ、左足を負傷した。	43	10~29
7	8~9	積荷先にて、ロールボックスをトラック荷台に積込む作業をしていたときに、トラックの後方にあった別のロールボックスの中にあった事務所用パーテーション約10枚が倒れ来て、左の脹脛に当たり、打撲及び擦過傷の負傷をした。	58	30~49
7	8~9	構内において、製品のドラム缶をホームからトラックの荷台に載せようとしたとき、ホームと荷台の高低差があり、荷台へ降ろした直後にドラム缶が倒れて、避けたものの右足が避けられず、右足の指を骨折し、7cm程の開放の傷を負った。	25	50~99
7	6~7	構内にて荷物の仕分け作業中、ボックスの上段の荷物が崩れ落ちてきて、その際に後ろへ転倒した。その際に背部を作業用ローラーにぶつけてしまい、痛みがしばらく続いたので病院へ行ったところ、肋骨骨折と診断された。	58	100~299
	13~	製菓棟にて、荷卸し作業を行っていた。トラック荷台とバス（高低差は約10cm）の隙間をコンパネで橋渡しをし、さらにコンパネとバスの上に鉄板を置き、		10

7	14	トラック荷台から積荷（製菓専用ラックにまとめた飲料類）を押して降ろそうとした。その際、製菓専用ラックの前輪が鉄板に引っ掛かり、前方に大きく傾き倒れ、その衝撃で製菓専用ラックを掴んでいた右手第二指を怪我した。	45	～ 29
7	11～ 12	トレーラーに乗務し、積荷（棒鋼）の配送先（被災場所と同じ）に到着後、指定場所に停車し、門型クレーン（2.8t）による荷降ろし作業中、荷台上で運転手（被災者）が棒鋼束を玉掛けした。巻き上げ後、車両後方に移動（横行）していたクレーンが倒れて、荷台上にいた運転手が、倒れたクレーンと荷台に挟まれ、腰部を負傷した。	50	10 ～ 29
9	20～ 21	支店のホーム上で、荷物の積み込み作業終了後、渡し鉄板を立て、ラッシングベルトで固定しようとベルトに手を伸ばした際、鉄板を押さえていなかったため、それが倒れてきて左くるぶし上を強打した。何とか運転も出来そうだったので痛みを堪えて運転し、朝方会社に帰ってきた。	45	50 ～ 99
9	16～ 17	構内にて整理をしていた際、折りたたまれたBOXを移動したが構内と敷地の窪みにタイヤが引っかかりBOXが倒れた。避けようとしたが避けきれず、左足甲が倒れたBOX上部に当たり左足親指を骨折した。	62	10 ～ 29
9	2～3	被災者は就業先である、営業内でトラックの荷台に荷物の積み込み作業を行っていた、荷台の中央に荷物の敷居としてパレットを立てて作業を行っていたところ、突然の強風に煽られ、パレットが被災者の方向に倒れてきた際に、左手甲を挟んで負傷した。原因は本人の不注意によるものと思われる。	50	10 ～ 29
9	6～7	地下駐車場にて、荷物の積み降ろし作業の為にトラックの荷台からカゴ台車を降ろそうとした際、バランスが崩れカゴ台車が倒れ右足が台車の下敷きになってしまい負傷した。	55	10 ～ 29
9	8～9	受傷者は、当社支店ホーム上において、スパンに仮置きされている商品を取り出すため、手前にある台車を引き出した際、その台車に積まれていた商品が崩れ、取手を握っていた右手に当たり負傷したものである。	43	100 ～ 299
9	16～	集荷先にて、商品の積み込みを行うため、トラック荷台のウイングを開け、荷台上に置いてあったコンパネ（900mm×1800mm×12mm、約10kg）数枚をトラック後方の扉（閉まっている）に立てかけ、うち数枚を斜めにして転倒防止策を取った	26	30 ～

	17	上で、1枚を持ち、トラック前方に持っていこうとトラック前方を向いた際に立てあったコンパネが倒れ、自身の右足踵部に当たったものである。		49
9	21～ 22	搬入口にてトラックの荷室内へスチール家具（事務用ロッカー・机・棚等）を廃棄するのに積み込んでいたところ、分解したスチール製の棚の支柱（L字型2m）2本を合わせた物が2本、荷室内でかがんで作業していた、頭部に倒れてきてケガをした。痛いと思ったがそのまま作業を続けていると近くにいた人が「すごく血が出てる」と言われ、トイレの鏡を見て出血を確認した。	51	10 ～ 29
9	17～ 18	トラックからホームにカーゴ台車を降ろす際に、脱輪し倒れそうになった為、咄嗟に避け踏んばった時に負傷したものである。	51	300 ～ 499
9	8～9	当社営業所にて、トラックコンテナ内に立てかけておいた荷積み用のパレットが荷物を降ろす際の揺れで不安定になり倒れ、当該社員の左下腿（ふくらはぎ）に当たり打撲したものである。	57	1～ 9
9	8～9	当社乗務員がトラック荷台上での玉掛け終了後荷台から降車する際バランスを崩したため、仮設フェンスに足を掛けたところ仮設フェンスが崩れ落下時に右腕がフェンスのパイプに衝突し負傷したものである。	53	10 ～ 29
9	14～ 15	プレハブ部材積込中、運転手の合図にて、積込者が部材を荷台へ卸したが部材下部のプレートとリン木が干渉し、1本が転倒した。その際、運転手の左足に接触して負傷（裂傷）した。	53	30 ～ 49
10	15～ 16	当社営業所敷地内に於いて、トラックの後ろの扉に立てかけてあったコンパネ（90×180、約5kg、1枚）が扉を開けたために倒れ、頭と肩を負傷したものの。	41	30 ～ 49
10	7～8	納品先において荷降ろし作業中、パワーゲートの降下を十分に確認せず台車を降ろそうとした為バランスを崩した台車が倒れて第12胸椎辺りを打った。負傷日は軽い痛みだったが、痛みが治まらない為受診したところ、当該部位を圧迫骨折していた。	61	50 ～ 99
				50

10	15～ 16	現場の倉庫でトラックの荷台に有るコンパネ（木のボード）を1枚ずつ降ろす時に数枚が滑り落ちて来て左足の背部を打撲した。	41	～ 99
10	9～ 10	トラック荷台でケースの積み込み作業中、立て掛けていた中柱が倒れてきて避けきれず右足を負傷した。	62	10 ～ 29
10	15～ 16	ロールボックスに畳を片付け・整理中に、積み付けを、奥からつめてきた時に、下側を奥に押したら、畳が前に倒れて、背中から腰の部分でへの字に曲がって、腰が伸びてあばら骨とおなか付近が痛く歩くことが出来ないぐらいだった。	60	50 ～ 99
11	17～ 18	当日出勤後、釣銭の準備をした後、乗務点呼を行った。その後、乗務前に持ち物の整理を行い不要な資料をゴミ箱へ捨てた際に、ゴミ箱の蓋（振り子式＝フラップ式）に右手中指を挟み受傷した。指先から出血が多く皮が裂けた感じであり、止血処置を行うも回復の兆しもないため救急病院へ向かい受診した。	54	30 ～ 49
11	1～2	弊社営業所倉庫にて、被災者は、製品を荷降ろし後、トラック荷台にあるパレットを手作業で整理していたところ、コンパネの代用として立ててあったパレットが倒れ、左手薬指を挟んだ。	61	50 ～ 99
11	21～ 22	支店にて、大型トラックに商品を積み込む作業中、最後数個の積み込みとなり、ラッシングバーを荷台後部に施して、そこに鉄板を立て掛けた後、ラッシングバー越しに商品を積み込んでいたところ、鉄板（荷役時に使用する鉄板）が倒れ、右足アキレス腱部に当たり、8針を縫合する切創を負った。	61	100 ～ 299
11	14～ 15	待機場所で搬入待ちしている時に、トラックの荷台を片付けようと、後方の扉を開けて、扉付近のベニヤ板を前方に倒そうとしたところ、ストッパーのベルトが外れており、ベニヤ板（10枚）が自分の方に倒れて来たので頭を守るためベニヤ板を支えようとして、左手人差し指・中指を負傷した。	64	10 ～ 29
11	9～ 10	ポンプ2台（約100kg）をビル5階の配送先へ降ろす際、（台車に載せる時）荷物が滑り、左足の甲へ荷物が載って、左足小指第2指を骨折した。	67	10 ～ 29
		構内で大型車荷台後部よりカゴ車を下ろす際、荷台後部に立て掛けてあったコンパ		

11	2~3	ネ8枚が倒れ掛かり、その重さで外側のカゴ車が落下しそうになった。これを支えようとして、咄嗟に荷台下に降りたところ、カゴ車が落下して来て、下敷きになった。作業を継続し、帰社し痛みがひどくなり診察を受けたところ、捻挫・骨折と判明した。	26	1~9
11	11~12	給食配送先の配膳室で給食配送車両から給食配送用のステンレス製コンテナ（170cm×80cm×170cm）を降ろす作業中、パワーゲートのストッパーが掛かっているのに気付かずコンテナを引き出そうとした。それでコンテナが傾き倒れるのを押さえようとしたがコンテナが倒れた為、左足先が転倒したコンテナに挟まり負傷した。	70	50~99
11	7~8	荷卸工場にて、荷卸の準備の為、車輛荷台後部扉を開けた際、後部に積んでいた緩衝材（コンパネ20枚）が落下してきて、転倒し、腰を強打した。〔再発防止対策〕アオリ、扉を開ける時は荷台上の状況を目視してから、ゆっくりと開ける。	28	10~29
12	5~6	荷主センターにて積み込み作業中、立て掛けていたパレットが倒れてきて足に当たり、右下腿後面の皮膚をえぐった。	50	10~29
12	7~8	トラックの荷台でゲートを稼働して荷下中、荷物を不安定な状態で置いたところ、何らかの衝撃があったのか、突然荷物が被災者の正面に滑り落ちてきたので避けきれず、仰向けに倒れて全身打撲を負った。	67	30~49
12	12~13	倉庫内において作業中、積み上げた荷物（折り畳みコンテナに入っている）が崩れ、頭部・肩・腕に当たった。外傷は見受けられなかったが、気分が悪くなったため、医師の診断を仰いだ。	50	1~9
12	13~14	埠頭内にてトレーラーの荷台に積込作業中、建設機械部品（6.5m×1.2m×1.5m）を荷台におろした時に部品が倒れ、荷台横にあったガードレールと部品の間に挟まれ、右大腿骨・右脛骨・右腓骨を骨折した。	65	10~29
12	19~20	敷地内で起きた労災事故の件で、警察への状況説明等事故対応をしている途中、荷台が揺れ、倒れてきた石膏ボードに挟まれた。倒れてきた石膏ボードの角が顔面を直撃し、右頬骨に骨折、裂傷等の傷を負い、トラックの側面に頭部を打ちつけた。	49	30~49

12	14~15	大型トラックの荷台で、運転席の方を向いて手積み作業を行っていたとき、斜め後方から段ボール箱が倒れてきて、下敷きになった。ヘルメットを着用していた頭部は守られたが、右のこめかみ辺りを強く打った。段ボール箱は、フォークリフトに3段で積まれ、トラックに積み込む際、段ボール箱が積まれたパレットを持ち上げた状態で、手前の3箱が倒れた（1箱20kg程）。なお、作業は被災労働者とフォークリフトの運転手2名で行っており、積み込み時に声掛けはしていなかった。	39	30 ～ 49
12	14~15	積み荷パレットを降ろしたとき、パレットが重いので局員に要請し、2人で降ろしていた。残りのパレット1台を降ろしていたときに、テーブルリフトを上げずに本人が作業したため、パレットが本人に覆いかぶさり、下敷きとなり負傷した。	66	30 ～ 49
12	13~14	当社倉庫にてトラック荷下ろし中、トラックの下でパレットを修理していたため下を向いて作業していたところ、バラ積み荷物の荷崩れが起き、落下してくるケースの下敷きとなり、首を痛めた。	43	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html